

令和元年度 地域医療構想調整会議の進め方について

【地域医療構想でめざすすがた】

- 誰もが元気でいきいきと暮らしながら、必要なときに身近な地域で質の高い医療を安心して受けられる
 - ・急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスが切れ目なく適切に受けられる
- (在宅療養者の急変時の往診や、入退院の連携などが円滑に行われる)

<平成 30 年度の重点的目標>

- まず、地域内の各病院の機能、地域における役割、今後の対応方針、病院間での患者の流れ等を地域で共有する。



<令和元年度の目標>

(全構想区域)

- ① 引き続き、地域内の各病院の機能、地域における役割、今後の対応方針、病院間での患者の流れ等を地域で共有する。

(地域の議論の進捗状況に応じて)

- ② その他、地域の実情や検討体制に合わせて、医療機能の実態や課題が明確になっている場合は、各地域で議論を深めていく。

(例：高齢者の救急機能の確保、在宅医療の後方支援、入退院支援、診療所・在宅医療・介護施設等の連携など)

<年間スケジュール>

参考資料 1 参照